

日本心臓リハビリテーション学会 第4回東海支部地方会

テーマ 攻めの医療としての心リハ

会長 坪井 英之 (大垣市民病院 循環器内科 副院長)

会期 2018年10月28日(日)

会場 じゅうろくプラザ (岐阜市文化産業交流センター)
〒500-8856 岐阜県岐阜市橋本町1丁目10番地11
TEL 058-262-0150 (代)

ご 挨拶



大垣市民病院 循環器内科 副院長
坪井 英之

私は、この度日本心臓リハビリテーション学会第4回東海支部地方会の会長を務めさせていただきます大垣市民病院 循環器内科 坪井英之と申します。

さて、この度の学会テーマは「攻めの医療としての心リハ」であります。

医療としての心リハは、今まではともすれば、失われた心機能なりADLをできるだけ、病前の状態に戻す手段ととらえられていました。

しかしながら、昨今は色々な知見が重なることにより、多職種で早期から積極的に介入することで、病前よりもっとよい人生を患者さんへ提供できることが明らかになってきました。具体的には、ハイリスク患者さんへの一次予防としての役割は当然ながら、二次予防の患者さんに対しては、心リハにより再発予防のみならず、リバースリモデリングによる心機能の改善、骨格筋、末梢血管の機能改善による運動耐容能の増強、それらの効果による社会生活の質的向上が期待できるようになりました。さらに今後ますます増加することが予想される介護が必要な高齢者に対しても、心リハによって積極的な自立を促すことが可能になりそれが介護者の負担軽減とご本人の生きる喜びの獲得などを実現します。以上のように今までの薬物療法中心の医療では成しえなかった様々なことが心リハでは可能となってきました。

まさに心リハは、今という時代が求める「攻めの医療」としての地位を確立しつつあると思われれます。

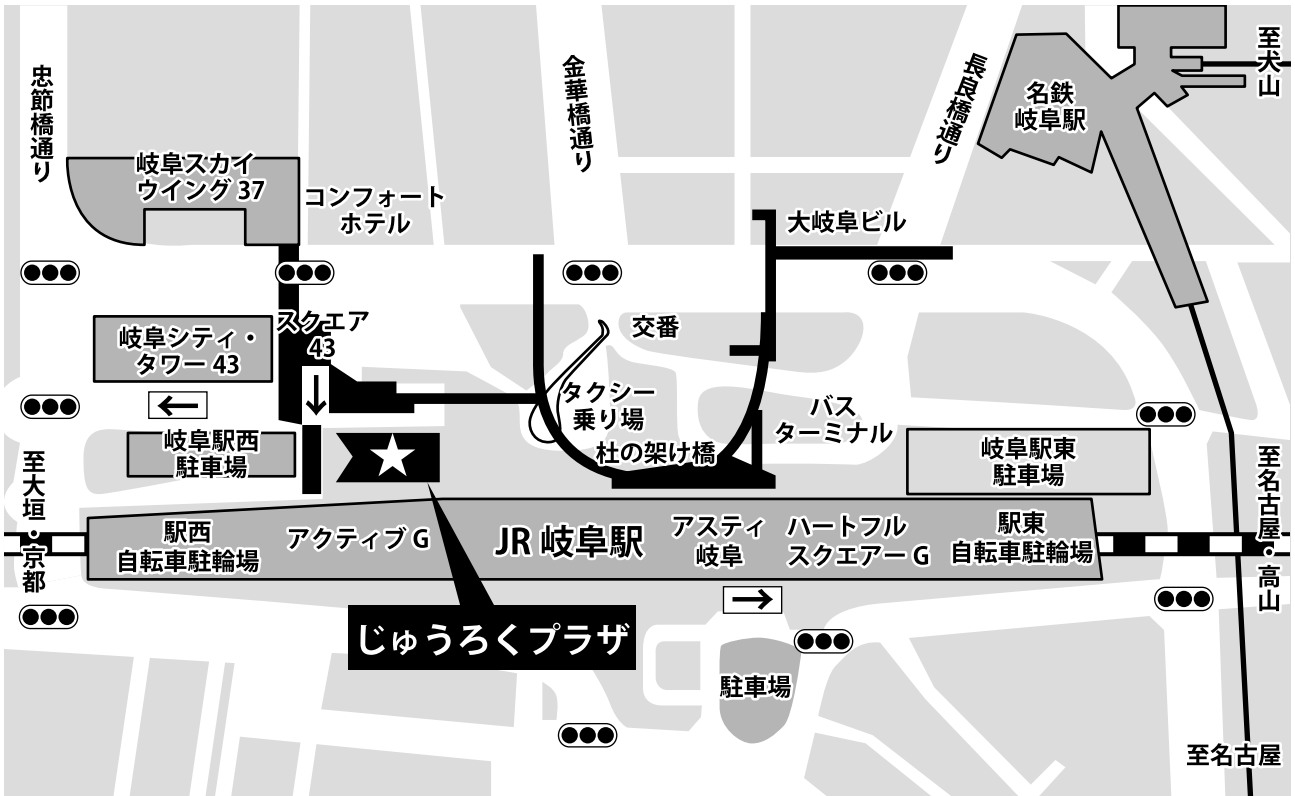
我々心リハにかかわるすべての職種は、上記のことを心にとめて患者さんと向き合うことにより、財政的にも人的にも厳しい状況におかれている今後の日本の医療をより良いものにすることもできると思います。

今学会が、少しでもそのきっかけになるとしたら、学会長として望外の喜びであります。

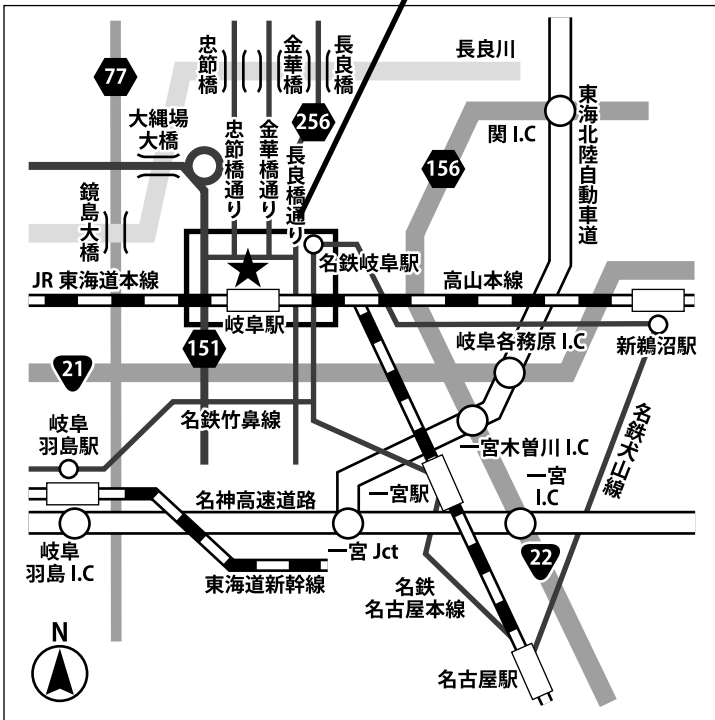
どうか、短い学会期間であります、各会員の皆様には積極的に議論に参加され、あたらしい知見を持ち帰っていただき、広く社会へ貢献されることを祈念してわたくしのご挨拶に代えさせていただきます。

交通のご案内

周辺マップ



路線図



じゅうろくプラザ

岐阜市橋本町1丁目10番地11

交通のご案内

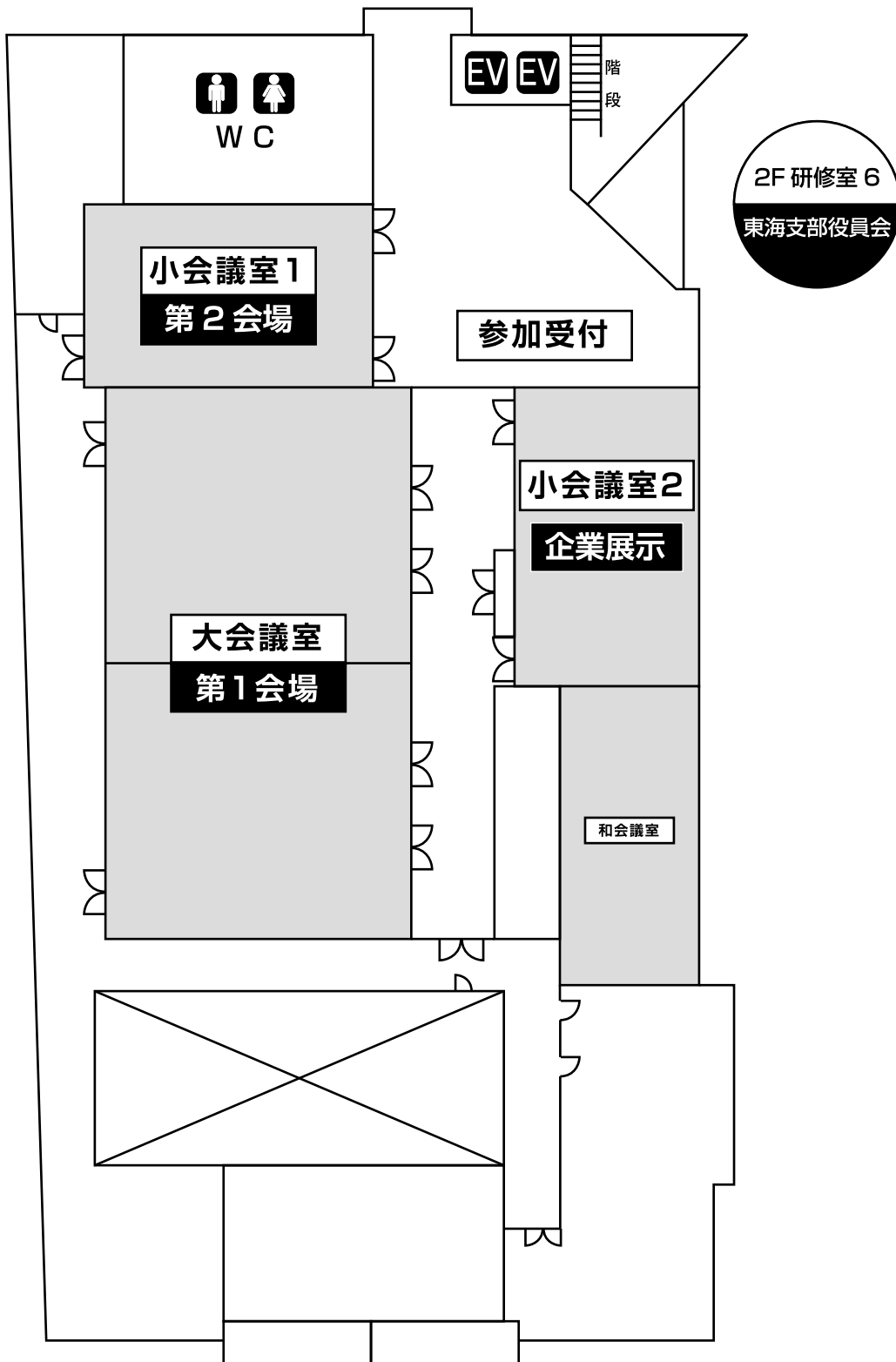
- JR 岐阜駅隣接 徒歩約2分
- 名鉄岐阜駅より 徒歩約7分
- 岐阜各務原 I.C. より 車約15分
- 岐阜羽島 I.C. より 車約20分

駐車場のご案内

有料駐車場 58 台収容。
ただし、一部の車種についてはスペースの関係上お断りする場合があります。

会場案内図

5F



ご来場の先生方へ

参加者の皆様へ

1. 参加費・参加証について

- ◆参加者は参加費、会員 ¥3,000、非会員 ¥4,000 をお支払いの上、参加証をお受け取りください。
参加受付：5F ロビー 日時：10月28日（日）9：30～
- ◆会場内では、必ず参加証を着用してください。

2. 心臓リハビリテーション指導士、認定医、上級指導士の単位登録について

- ◆参加受付の際、単位票をお渡しいたします。
必要事項をご記入の上、会期中に指導士単位受付までご提出ください。
- ◆後日のご提出や代理の方のご提出は認めておりませんので予めご了承ください。

3. 企業展示・クローク・託児所について

- ◆企業展示を5階小会議室②に準備しておりますので、お立ち寄りください。
- ◆今回、クロークおよび託児所はございません。

東海支部役員の方へ

- ◆10月28日（日）9：15～9：45 支部役員会（2F 研修室6）

座長の皆様へ

- ◆ご来場されましたら、参加受付付近の座長受付に必ずお立ち寄りください。
ご来場の確認をさせていただきます。
- ◆担当セッションの15分前には、次座長席にご着席ください。
- ◆進行を一任いたしますので遅延のないようご協力ください。

演者の皆様へ

1. 発表について

- ※本地方会の発表は、全て口頭発表とさせていただきます。
- ◆発表時間 口頭発表7分、討論3分。
- ◆発表形式 発表は液晶プロジェクターを利用し、Power Point のみになります。
- ◆発表者ツールの使用はできません。
- ◆当日の流れ
 - ・発表30分前までを目途にPC受付（5F ロビー）にて、発表ファイルの動作を確認して頂きます。
その際に、係員がお預かりしたデータを主催者側のPCにコピーいたします。
 - ・受付での時間のかかる編集はお断りします。予め編集が必要であればご自身のPCをご用意ください。
また受付後、編集をされた際は、もう一度受付をしてください。
 - ・発表データの受付のあと、発表10分前までには会場内の次演者席付近にてお待ちください。
 - ・発表は演台のマウスおよびテンキーを使用して頂きます。
 - ・演題の発表の順番が来た時には最初の画面を用意しております。原則として発表者にスライド操作して頂きます。また演台にレーザーポインターを用意しておりますので使用してください。
※コピーされたデータは学会終了後、主催者側で責任を持って消去いたします。

◆ファイルの作成

- ・持ち込むデータは、必ず事前にウイルススキャンを行ってください。
- ・データは PowerPoint2007、2010、2013 及び 2016 のいずれかで作成ください。
事前にデータを作成した PC 以外で正常に動作するか、ご確認ください。
- ・Macintosh PowerPoint で作成されたファイルには拡張子 (.ppt) を付け、Windows で動作の確認をしてください。
※Macintosh PowerPoint でのご発表となる場合は、ご自身の PC を持参ください。
- ・スライド枚数は制限しませんが、発表時間を考慮して作成してください。
また全容量は 10MB 以下としてください。
- ・アニメーション、動画はトラブルの元ですのでできるだけ使用しないでください（どうしても発表に効果的と考えられる場合はご自身の PC をご持参ください）。また、音声のご利用はできません。
- ・フォントは文字化けを防ぐために標準フォントを使用してください。
(日本語フォント：MS 明朝、MS ゴシック、MSP 明朝、MSP ゴシックなど。
英語フォント：Arial、Century、Times、Times New Roman、Helvetica、Symbol など)。
- ・データのファイル名は「会場名」「演題番号」、「発表者の氏名（漢字）」の順で名前をつけて保存してください。
例)○-1 環境太郎 .ppt

◆動画のない発表

発表データは USB フラッシュメモリにてご持参ください。

- ・USB フラッシュメモリには当日発表されるデータのみ保存してお持ち込みください。
発表データ以外は入れないでください。

◆動画のある発表

原則としてご自身の PC をお持ちください。

- ・D-sub15 ピンコネクタからのモニター出力が必要です。事務局で D-sub15 ピンの接続ケーブルをご用意いたします。お持ち頂く PC から D-sub15 ピンへの変換コネクタが必要な場合には、ご自身でお持ちください。
- ・動画を使用される方は実際にお持ち頂く PC で再生できることを必ず事前にご確認ください。本体の液晶画面に動画が表示されても、PC の外部出力に接続した画面には表示されない場合があります。お持ち頂く PC ではない別の PC で作成された動画は、再生できない場合がありますのでお気をつけください。
- ・お持ち頂く PC の電源ケーブルを必ずご持参ください。
- ・音声のご利用はできません。
- ・スクリーンセーバー、ウイルスチェックならびに省電力設定は予め解除してください。
- ・起動時にパスワードの設定をされている場合は、確認させていただきます。
- ・トラブル時の対応用として発表用データのバックアップを取らせて頂きます。ご了承ください。尚、バックアップのデータに関しましては、学会終了後破棄させていただきます。
- ・発表 30 分前までには、必ず PC 受付にお越しください。PC の試写・通過確認等させていただきます。PC の試写・通過確認後、ご発表 15 分前までに発表会場内のオペレーター席にて接続確認をしてください。
ご発表後、オペレーターよりご自身の PC をお受け取りください。なお、お持ち頂く PC に保存されている貴重なデータの損失を避けるため、必ず事前にデータのバックアップをしてください。

日程表・座長一覧

| | 第1会場 大会議室 | 第2会場 小会議室① | 企業展示 小会議室② |
|-------|---|--|--|
| 9:00 | | | |
| 9:30 | | | |
| | 受 付 | | |
| 10:00 | 開会の辞 | | 9:50-17:00 |
| 10:30 | 10:00~10:50 一般演題① 虚血性心疾患 O-1~O-5 【座長】植村 祐介/早野 真司 | 10:00~10:50 一般演題⑦ 運営・スタッフ教育・その他 O-31~O-35 【座長】西垣 和彦/中道 朝香 | <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>支部役員会のご案内</p> <p>9:15~9:45</p> <p>2F 研修室 6</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">企業展示</p> |
| 11:00 | | | |
| 11:30 | 11:00~11:50 一般演題② 心不全・心筋症 1 O-6~O-10 【座長】北田 修一/渡邊 直樹 | 11:00~11:50 一般演題⑧ 患者教育 O-36~O-40 【座長】原田 憲/中村 智香 | |
| 12:00 | | | |
| 12:30 | 12:00~13:00 ランチョンセミナー① 外来でよく診る息切れを伴う 糖尿病患者 【共催】第一三共株式会社 | 12:00~13:00 ランチョンセミナー② LS2-1 高齢心不全患者の栄養とリハビリ LS2-2 心不全と糖尿病 ー心臓リハビリテーションー 【共催】武田薬品工業株式会社 | |
| 13:00 | | | |
| 13:30 | 13:10~14:00 一般演題③ 心不全・心筋症 2 O-11~O-15 【座長】近藤 徹/谷村 大輔 | 13:10~14:00 一般演題⑨ 運動処方・ADL・疾病管理プログラム O-41~O-45 【座長】川崎 雅規/飯田 有輝 | |
| 14:00 | | | |
| 14:30 | 14:10~15:00 一般演題④ 弁膜症・術後・肺高血圧 O-16~O-20 【座長】大島 英揮/横手 淳 | 14:10~15:10 一般演題⑩ 高齢・維持期 O-46~O-51 【座長】横家 正樹/河野 裕治 | |
| 15:00 | | | |
| 15:30 | 15:10~16:00 コーヒーブレイクセミナー Multi Comorbidity における抗血栓療法的重要性 【共催】バイエル薬品株式会社 | | |
| 16:00 | | | |
| 16:30 | 16:10~17:00 一般演題⑤ デバイス・CPX O-21~O-25 【座長】藤本 直紀/谷島 進太郎 | 16:10~17:10 一般演題⑪ 在宅医療 O-52~O-57 【座長】初音 俊樹/吉川 大治 | |
| 17:00 | | | |
| 17:30 | 17:10~18:00 一般演題⑥ サルコペニアフレイル O-26~O-30 【座長】堀部 秀樹/小林 聖典 | 17:10~18:00 看護師交流会 | |
| 18:00 | | | |
| | 閉会の辞 | | |
| 18:30 | | | |

プログラム

■お断り

原則的に講演者が入力したデータをそのまま掲載しておりますので、一部施設名・演者名・用語等の表記不統一がございます。あらかじめご了承ください。

ランチョンセミナー①

第1会場 12:00～13:00

LS1 外来でよく診られる息切れを伴う糖尿病患者

○大西 勝也

大西内科ハートクリニック 院長

共催：第一三共株式会社

ランチョンセミナー②

第2会場 12:00～13:00

座長：湊口 信也（岐阜市民病院 循環器内科心不全センター長）

LS2-1 高齢心不全患者の栄養とリハビリ

○堀部 秀樹

岐阜県立多治見病院 循環器内科 部長

LS2-2 心不全と糖尿病 – 心臓リハビリテーション –

○皆川 太郎

みながわ内科・循環器科クリニック 院長

共催：武田薬品工業株式会社

コーヒーブレイクセミナー

第1会場 15:10～16:00

座長：野田 俊之（岐阜県総合医療センター 循環器内科 部長 副院長）

LS1-1 Multi Comorbidity における抗血栓療法的重要性

○天野 哲也

愛知医科大学 循環器内科 教授

共催：バイエル薬品株式会社

看護師交流会

第2会場 17:10～18:00

座長：石原 真由美（岐阜県総合医療センター 看護部）

原 康貴（岐阜ハートセンター 心臓リハビリテーション室）

東海支部地方会 第1回 看護師交流会 東海地方の心リハナース集まれ！

座長：植村祐介（安城更生病院 循環器センター）
早野真司（岡崎市民病院 循環器内科）

0-1 CTO 病変の PCI 前後に CPX 検査を施行し得た 2 症例

- 原田 憲¹、真宮久美子¹、鈴木 瞳¹、松永 俊¹、西川佳典¹、原田一宏¹、長尾知行¹、
篠田典弘¹、山田純生²
中部ろうさい病院 循環器内科¹
名古屋大学大学院 医学系研究科保健学²

0-2 急性期心筋梗塞において運動時換気応答と酸素搬送能が軽度認知障害に関連する

- 祖父江 希帆¹、中島 将宏¹、三宅 沙依¹、熊崎 康将¹、丸毛 久未子¹、廣瀬 聡彦¹、石原 真由美^{1,2}、
谷島 進太郎^{1,3}、野田 俊之³
地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター 心臓リハビリテーション部¹
地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター 看護部²
地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター 循環器内科³

0-3 心筋梗塞後の心臓リハビリテーションは、中途脱落例でも左心系リモデリングを抑制しうる可能性がある。

- 三宅 裕史^{1,2}、脇田 隆広³、井田 雅之³、鈴木 篤明³、小林 光一¹、石木 良治¹、岩瀬 三紀¹
トヨタ記念病院 循環器科¹
トヨタ記念病院 臨床検査科²
トヨタ記念病院 リハビリテーション科³

0-4 急性下壁心筋梗塞患者の長期的なリハビリによる心機能の改善と今後の課題

- 高田 大誠¹、坪井 英之²、山下 倫弘¹、坂直之¹、渡邊 哲幸¹
大垣市民病院 リハビリテーションセンター¹
大垣市民病院 副院長²

0-5 日本人の急性冠症候群患者における腹部内臓脂肪とメタボリックパラメータとの関連

- 堀部 秀樹¹、富田 和裕²、志村 勇¹、藤本 恭子²、広田 晋²、塚田 健太²、白川 裕貴²、木村 信博²、
近藤 泰三¹
岐阜県立多治見病院 循環器内科¹
岐阜県立多治見病院 リハビリテーション科²

座長：北田修一（名古屋市立大学大学院医学研究科 心臓・腎高血圧内科学）
渡邊直樹（大垣市民病院 循環器内科）

0-6 慢性心不全ステージDで入退院を繰り返しながらも心リハにより希望だった家族の結婚式に参加できた1例

- 菅祐紀¹、鈴木淳也¹、石黒博也¹、山村雅仁²、浅野恵里香²、神野泰³
半田市立半田病院リハビリテーション科¹
半田市立半田病院6B病棟²
半田市立半田病院循環器内科³

0-7 当院外来心臓リハビリテーションにおける慢性心不全患者の心不全ステージ分類別の身体機能について

- 山藤浩、古田紀子、廣瀬武司
なかハートクリニック

0-8 重度の虚血性心疾患を基礎とした糖尿病合併の心不全症例へのリハビリ介入

- 瀧野皓哉^{1,2}、原康貴¹、作井大介¹、久世洋嗣¹、永井敬志¹、桂川曜子¹、大瀧香織¹、大森寛行³、川村一太³、山田純生⁴
岐阜ハートセンター心臓リハビリテーション室¹
名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学博士後期課程²
岐阜ハートセンター循環器内科³
名古屋大学大学院医学系研究科（保健学）⁴

0-9 化学療法施行後の心不全増悪予防を目的に 外来での心臓リハビリテーションを継続した1例

- 谷奥俊也¹、平敷安希博²、西崎成紀¹、橋本駿¹、小原伊都子¹、植田郁恵¹、川村皓生¹、伊藤直樹¹、松尾宏¹、川島一博²、清水敦哉²、近藤和泉¹
国立長寿医療研究センターリハビリテーション科部¹
国立長寿医療研究センター循環器内科部²

0-10 診療所で高度左室収縮能低下を伴う慢性心不全に心臓リハビリテーションを行い、運動耐容能が改善した2症例

- 三原裕嗣、下郷卓史、鯉江千裕、吉田友記、小林美保、三厨純子、大野一代
四日市内科ハートクリニック

座長：近藤 徹（名古屋大学医学部附属病院 循環器内科）
谷村 大輔（名古屋掖済会病院 循環器内科）

0-11 心拍血圧応答が不良な左室収縮能低下例に対する外来運動管理に症状モニタリングが有用であった1例

- 河野 裕治¹、青柳 陽一郎²、石川 綾子¹、杉浦 翼¹、森 悦子¹、矢筈 隆造¹、上田 清乃³、山田 亮³、林 睦晴³、才藤 栄一³、井澤 英夫³

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院リハビリテーション部¹

藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学I講座²

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院循環器内科³

0-12 高齢心不全に対する栄養管理により身体機能が改善した2症例

- 関野 尊久¹、本多 成史¹、子安 正純²、植村 祐介²、植山 大悟²

安城更生病院リハビリテーション科¹

安城更生病院循環器内科²

0-13 心不全患者の入院早期の摂食状況と運動機能との関係～摂取エネルギー量による検討～

- 富田 和裕¹、志村 勇¹、広田 晋¹、塚田 健太¹、白川 裕貴¹、近藤 泰三²、堀部 秀樹²

岐阜県立多治見病院リハビリテーション科¹

岐阜県立多治見病院循環器内科²

0-14 当院における心不全入院患者の心臓リハビリテーション介入率と背景因子の検討

- 高畑 実由¹、岡田 恭子¹、川村 真悠¹、伊藤 成弘²、仲田 智之²、熊谷 直人²、星野 康三²

医療法人永井病院リハビリテーション科¹

医療法人永井病院循環器科²

0-15 運動時周期性呼吸 (EOV) とチェーン・ストークス呼吸 (CSR) の合併した拡張型心筋症の一例

- 増田 千秋、杉本 匡史、藤田 直美、大本 清香、森本 誠、香川 芳彦、中谷 中

三重大学医学部附属病院

座長：大島 英揮（トヨタ記念病院 心臓外科）
横手 淳（大垣市民病院 心臓血管外科）

0-16 重症大動脈弁狭窄症患者へリハビリテーションを施行し外科的大動脈弁置換術に至った一例

- 高木大地¹、小林聖典¹、田中哲人²、徳田順之³、小嶋弘毅²、服部慶子¹、室原豊明²、山田純生⁴

名古屋大学 医学部附属病院 リハビリテーション部¹

名古屋大学 大学院医学系研究科 循環器内科学²

名古屋大学 大学院医学系研究科 心臓外科学³

名古屋大学 大学院医学系研究科 保健学⁴

0-17 術前リハビリテーション介入により手術可能となったフレイル症例

- 久世洋嗣¹、原康貴¹、作井大介¹、瀧野皓哉¹、永井敬志¹、桂川曜子¹、大瀧香織¹、関淳²、泉二佑輔²、加藤貴吉²、川村一太³、富田伸司²、松尾仁司³

岐阜ハートセンター リハビリテーション室¹

岐阜ハートセンター 心臓血管外科²

岐阜ハートセンター 循環器内科³

0-18 心臓外科術後の退院時浮腫指数に関連する周術期因子の検討

- 寺井正樹¹、柴田賢一¹、亀島匡高¹、堀部真由美¹、藤山裕晃¹、清水琴絵¹、松井佑樹¹、東田雪絵²、島田晶子³、江原真理子⁴、北村英樹⁵、山田純生⁶

名古屋ハートセンター リハビリテーション部¹、名古屋ハートセンター 看護部²、

名古屋ハートセンター 栄養科³、名古屋ハートセンター 循環器内科⁴、

名古屋ハートセンター 心臓血管外科⁵、名古屋大学大学院医学系研究科（保健学）⁶

0-19 低心機能を呈した Marfan 症候群症例に対する外科術後リハビリテーション介入の検討

- 永井敬志¹、原康貴¹、作井大介¹、久世洋嗣¹、瀧野皓哉¹、桂川曜子¹、大瀧香織¹、関淳²、泉二佑輔²、加藤貴吉²、川村一太³、富田伸司²、松尾仁司³

岐阜ハートセンター 心臓リハビリテーション室¹

岐阜ハートセンター 心臓血管外科²

岐阜ハートセンター 循環器内科³

0-20 慢性血栓塞栓性肺高血圧症症例の初期治療時における 6 分間歩行距離は下肢筋力および抑うつ状態と関連する

- 作井大介¹、原康貴¹、久世洋嗣¹、瀧野皓哉¹、永井敬志¹、平田哲夫²、川村一太²、松尾仁司²、山田純生³

岐阜ハートセンター 心臓リハビリテーション室¹

岐阜ハートセンター 循環器内科²

名古屋大学大学院医学系研究科（保健学）³

座長：藤本 直紀（三重大学大学院医学系研究科 検査医学分野）
谷畠 進太郎（岐阜県総合医療センター 心臓リハビリテーション部）

0-21 CRT-D の分時換気量センサーの感度を調整したことで良好な心拍応答が得られた一症例

- 村瀬 数馬¹、都築 正尚¹、入谷 直樹¹、浅井 千香子¹、大谷 卓巳¹、鈴木 孝彦²、寺島 充康²、坂元 裕一郎²、中川 香²、山田 純生³

医療法人澄心会豊橋ハートセンター リハビリテーション科¹

医療法人澄心会豊橋ハートセンター 循環器内科²

名古屋大学大学院医学系研究科（保健学）³

0-22 ICD 植え込み後のショック作動への不安に対して、外来心臓リハビリテーションが有効であった1症例

- 藤山 裕晃¹、柴田 賢一¹、亀島 匡高¹、堀部 真由美¹、寺井 正樹¹、清水 琴絵¹、松井 佑樹¹、東田 雪絵²、島田 晶子³、江原 真理子⁴、山田 純生⁵

名古屋ハートセンター リハビリテーション部¹、名古屋ハートセンター 看護部²、

名古屋ハートセンター 栄養科³、名古屋ハートセンター 循環器内科⁴、

名古屋大学大学院医学系研究科（保健学）⁵

0-23 運動耐容能と心臓拡張機能の関係について

- 高木 明美¹、杉田 文芳¹、神谷 嘉彦¹、北川 大祐¹、岡田 浩司¹、田畑 明里¹、石田 優人¹、永谷 都¹、坪井 英之²

大垣市民病院 医療技術部 診療検査科¹

大垣市民病院 循環器内科²

0-24 CPX 中に多彩な心電図変化を呈した一症例

- 松尾 紗織¹、高杉 信寛²、安藤 貴洋¹、山岸 純也¹、吉田 明弘³、成瀬 元気³、湊口 信吾³、川崎 雅規³

岐阜大学医学部附属病院 リハビリテーション科¹

岐阜大学医学部附属病院 医師育成推進センター²

岐阜大学医学部附属病院 第二内科³

0-25 当院における心肺運動負荷試験を実施した循環器疾患患者の特徴とその後の follow 状況

- 古川 拓朗¹、小川 智也¹、平澤 純¹、三嶋 卓也¹、小久保 裕子¹、井上 陽介²、浅野 博²、味岡 正純²

公立陶生病院 中央リハビリテーション部¹

公立陶生病院 循環器内科²

座長：堀部 秀樹（岐阜県立多治見病院 循環器内科）

小林 聖典（名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部）

0-26 TAVI 施行後に心不全増悪を繰り返した超高齢フレイル患者に対し心臓リハビリテーションを施行した 1 例

- 橋本駿¹、平敷安希博²、谷奥俊也¹、西崎成紀¹、小原伊都子¹、植田郁恵¹、川村皓生¹、伊藤直樹¹、松尾宏¹、川島一博¹、清水敦哉^{1,2}、近藤和泉¹

国立長寿医療研究センター リハビリテーション科部¹

国立長寿医療研究センター 循環器内科部²

0-27 肺炎を契機に増悪したフレイルの強い重症心不全患者に対し PT と ST の協同介入により運動耐容能が改善した一例

- 小杉実代¹、下郷卓史²、竹岡美代子¹、伊東由教¹、永井翔子¹、倉知朋代¹、寺島光里¹、五島由奈¹、川口悟¹、亀谷良介¹、大竹浩史¹

名古屋徳洲会総合病院¹

四日市内科ハートクリニック²

0-28 プレフレイルを有する急性心筋梗塞患者は軽度認知障害やうつ傾向など精神心理的問題を合併するリスクが高い

- 三宅沙依¹、中島将宏¹、祖父江希帆¹、熊崎康将¹、丸毛久未子¹、廣瀬聡彦¹、石原真由美^{1,2}、谷島進太郎^{1,3}、野田俊之³

地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター 心臓リハビリテーション部¹

地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター 看護部²

地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター 循環器内科³

0-29 外来心臓リハビリテーション介入によりフレイルを予防し得た高齢経カテーテル大動脈弁置換術患者の一例

- 清水琴絵¹、柴田賢一¹、亀島匡高¹、藤山裕晃¹、寺井正樹¹、松井佑樹¹、東田雪絵²、島田晶子³、江原真理子⁴

名古屋ハートセンター リハビリテーション部¹

名古屋ハートセンター 看護部²

名古屋ハートセンター 栄養科³

名古屋ハートセンター 循環器内科⁴

0-30 当院の外来心臓リハビリテーションを継続している心疾患患者の身体特性について

- 坂直之¹、坪井英之²、渡邊哲幸¹、高田大誠¹、山下倫弘¹、三川浩太郎³

大垣市民病院 リハビリテーション科¹

大垣市民病院 循環器内科²

中部学院大学 看護リハビリテーション学部³

座長：西垣和彦（岐阜市民病院 第一内科）

中道朝香（名古屋大学医学部附属病院 看護部 救急・内科系集中治療室）

0-31 頻繁に入退院を繰り返す重症心不全患者が多職種連携を通して在宅療養を継続できた一症例

○伊藤 裕子、岩先 奈水子、梅田 香織

一般社団法人日本海員掖済会 名古屋掖済会病院

0-32 当院心不全チームの立ち上げと活動報告

○伊藤 里香、田邊 剛史、服部 寛子、神山 由紀、水野 莉絵、江尾 茉里子、平工 琴穂、萩野 勝也、石橋 貴久彦、筒井 孝太、西脇 睦、佐藤 司、田原 清志、山内 英康、横山 礼、田中 利典、中村 玲子、横家 正樹、長野 俊彦

医療法人社団友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ
心臓リハビリテーションチーム

0-33 急性期から維持期まで同一医療機関内で行う心臓リハビリテーション運営～医療法 42 条施設の活用～

○森敏彦¹、森山善文¹、伊藤沙夜香²、古川翔大²

医療法人偕行会 名古屋共立病院 ウェルネスセンター¹
医療法人偕行会 名古屋共立病院 リハビリテーション課²

0-34 当院の作業療法士、言語聴覚士を対象とした心不全勉強会の効果と課題

○寺澤 穂乃香¹、福地 未紗¹、安藤 春菜¹、酒井田 早紀¹、渡邊 和代¹、伊藤 彩乃¹、伊藤 純一¹、大塚 誠士¹、白木 大吾²、榎林 優²、高橋 茂清³、青山 琢磨³

社会医療法人厚生会 木沢記念病院 総合リハビリテーション部¹
社会医療法人厚生会 木沢記念病院 中部療護センター²
社会医療法人厚生会 木沢記念病院 循環器病センター 循環器内科³

0-35 当院回復期リハビリテーション病棟における心臓リハビリテーションの関わり方

○石橋 貴久彦¹、田邊 剛史¹、萩野 勝也¹、浅川 紗里²、伴田 慎²、大橋 千佳²、林 節也²、久保田 将成²、田中 利典²、神山 由紀¹、宮川 ひで子³、清水 美里³、筒井 孝太¹、西脇 睦¹、佐藤 司¹、田原 清志¹、森 憲司³、横家 正樹¹、長野 俊彦¹

医療法人社団友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ心臓リハビリテーションチーム¹
同 リハビリテーション科²
同 回復期リハビリテーション病棟³

座長：原田 憲（中部ろうさい病院 循環器内科）
中村 智香（大垣市民病院 看護部）

0-36 回復期リハビリテーション病棟に対する心臓リハビリテーションチームが 介入した一例

- 萩野勝也¹、石橋貴久彦¹、田邊剛史¹、神山由紀¹、伊藤里香¹、宮川ひで子¹、西脇睦¹、佐藤司¹、
筒井孝太¹、田中利典¹、森憲司¹、横家正樹¹、長野俊彦

医療法人社団友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ
心臓リハビリテーションチーム

0-37 外来心臓リハビリテーション患者の運動習慣と活動性及び移動能力に関する調査

- 野邨支織¹、重政朝彦²、多田英生¹、土谷美耶子¹、岩室樹¹、深川翔平¹、木梨貴弘¹、鴨狩裕貴¹、
駒村和雄²、瀬川知²、片岡俊介²、山口幸宏²、古賀伸太郎²、大武聖³、森田正治⁴

国際医療福祉大学熱海病院リハビリテーション部¹
国際医療福祉大学熱海病院循環器内科²
国際医療福祉大学小田原保健医療学部理学療法学科³
国際医療福祉大学福岡保健医療学部理学療法学科⁴

0-38 当院における要介護認定症例に対する送迎サービス付外来心臓リハビリ テーションアプローチ

- 鮫嶋友樹、今井貴之、和田百合子、長谷川香絵、初音俊樹

医療法人慶睦会千手堂病院

0-39 心臓リハビリテーション修了後の運動習慣継続をめざして

- 小鳥川彰浩、横山有見子、村田欣洋、榊原慶祐¹、熊崎誠

JA 岐阜厚生連久美愛厚生病院

0-40 岐阜心臓リハビリテーションネットワーク（CR-GNet）における当院管 理栄養士の活動

- 関谷快斗^{1,2,3,4}、田中美央¹、廣瀬聡彦²、石原真由美^{2,3}、谷畠進太郎^{2,4}、野田俊之⁴、飯田真美^{1,4}

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 栄養管理部¹
同心臓リハビリテーション部²
同看護部³
同循環器内科⁴

座長：川崎 雅規（岐阜大学大学院医学系研究科 循環病態学・呼吸病態学・第二内科）
飯田 有輝（JA 愛知厚生連 海南病院 リハビリテーション科）

0-41 Borg スケールを利用したレジスタンストレーニングプログラムの効果

- 渡邊 哲幸¹、山下 倫弘¹、坂直之¹、高田大誠¹、坪井 英之²
大垣市民病院 リハビリテーションセンター¹
大垣市民病院 循環器内科²

0-42 当院での心不全早期離床プログラムの有効性

- 船戸 優佑、服部 晃左、平野 桂滋郎、牧野 太郎、杉浦 厚司
碧南市民病院

0-43 大動脈内バルーンパンピング使用後の ADL 非自立患者の特徴

- 平澤 純¹、小川 智也¹、古川 拓朗¹、三嶋 卓也¹、小久保 裕子¹、新貝 和也¹、長江 優介¹、小山 昌利²、
井上 陽介³、浅野 博³、味岡 正純³
公立陶生病院 中央リハビリテーション部¹
公立陶生病院 臨床工学部²
公立陶生病院 循環器内科³

0-44 当院における岐阜心臓リハビリテーションネットワーク (CR-GNet) の現状について

- 山岸 純也¹、安藤 貴洋¹、松尾 紗織¹、湊口 信吾²、成瀬 元気²、吉田 明弘²、川崎 雅規²
岐阜大学医学部附属病院 リハビリテーション部¹
岐阜大学医学部附属病院 第二内科²

0-45 心不全パス導入による心不全患者の療養への影響

- 中村 智香、大橋 彩花、畑中 千紗都、加藤 詠理、藤井 乃愛¹、田中正子¹
大垣市民病院 看護部

座長：横家 正樹（岩砂病院・岩砂マタニティ 循環器内科）

河野 裕治（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院 理学療法士）

0-46 右大腿骨転子部骨折術後、拡張障害に伴ううっ血性心不全が合併しリハビリを施行した高齢女性の一例

○小田佳奈恵¹、浅井崇¹、寺島讓³、千原壮智²、澤田三紀⁴

山田メディカルクリニックリハビリセンター¹、山田病院²、

山田メディカルクリニック訪問リハビリテーション³、山田メディカルクリニック⁴

0-47 高齢心不全患者におけるバランス能力低下はフレイル・年齢因子の双方が関連する

○森悦子^{1,2}、青柳陽一郎³、富田秀仁⁴、河野裕治¹、杉浦翼¹、石川綾子¹、矢筈原隆造¹、上田清乃⁵、山田亮⁵、林陸晴⁵、井澤英夫⁵、浅井仁⁶

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院リハビリテーション部¹、金沢大学大学院医薬保健学総合研究科²、

藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学I講座³、豊橋創造大学大学院健康科学研究科⁴、

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院循環器内科⁵、

金沢大学医薬保健研究域保健学系リハビリテーション科学領域理学療法科学講座⁶

0-48 癌を有する高齢心不全患者の外来心臓リハビリテーションの経験

○犬塚加菜¹、永田英貴¹、細江浩典¹、青山豊²

名古屋第二赤十字病院医療技術部リハビリテーション課¹

名古屋第二赤十字病院循環器センター²

0-49 療養病床における心疾患合併長期入院患者に対するリハビリテーションの実際

○初音俊樹、鮫島友樹、今井貴之

医療法人慶睦会千手堂病院

0-50 活動量計を用いて退院後早期の身体活動量の評価を行った慢性心不全一症例

○石川綾子¹、河野裕治¹、杉浦翼¹、森悦子¹、青柳陽一郎²、上田清乃³、山田亮³、林陸晴³、井澤英夫³

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院リハビリテーション部¹

藤田保健衛生大学医学部リハビリテーション医学I講座²

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院循環器内科³

0-51 診療所における心臓リハビリテーションの現状

○佐伯宏幸¹、長澤恵里那¹、山内裕介¹、岡田拓馬¹、代田祥啓¹、松尾小百合¹、石原義之²、皆川太郎²

みながわ内科・循環器科クリニックリハビリテーション科¹、同循環器内科²

座長：初音 俊樹（医療法人慶睦会 千手堂病院 循環器科）
吉川 大治（愛北ハートクリニック）

0-52 医療依存度の高い末期心不全患者の在宅療養支援を通して

- 蓑島 啓太
岐阜県総合医療センター

0-53 岐阜心臓リハビリテーションネットワーク（CR-GNet）による地域連携の活動報告

- 横家 正樹^{1,2}、長野 俊彦^{1,2}、小野木 浩人²、越路 正敏²、西垣 和彦²、野田 俊之²、皆川 太郎²、湊口 信也²
岩砂病院・岩砂マタニティ¹、NPO 法人岐阜心臓リハビリテーションネットワーク²

0-54 急性期病院における心不全訪問診療の試み

- 子安 正純、植山 大悟、寺岡 翼、渡邊 峻、尾崎 祐太、下條 将史、平山 賢志、石川 真司、植村 祐介、竹本 憲二、度会 正人
安城更生病院 循環器内科

0-55 地域連携パス導入時に連携パス運用改善に向けた多職種での取り組みと効果

- 石原 真由美^{1,2}、三宅 沙依²、中島 将宏²、丸毛 久未子²、廣瀬 聡彦²、谷島 進太郎^{2,3}、野田 俊之³
地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 看護部¹
地方独立行政法人岐阜県総合医療センター心臓リハビリテーション部²
地方独立行政法人岐阜県総合医療センター 循環器内科³

0-56 COPD に伴う終末期心不全に対し多職種連携による意思決定支援を行い最期の数日まで訪問リハ介入しえた一症例

- 寺島 譲^{1,2,3,4}、梅村 俊介¹、小田 佳奈恵²、千原 壮智³、澤田 三紀⁴
医療法人和光会山田メディカルクリニック 訪問リハビリテーション¹
医療法人和光会山田メディカルクリニック リハビリセンター²
医療法人和光会山田病院 リハビリテーション科³
医療法人和光会山田メディカルクリニック⁴

0-57 当医療法人における介護支援専門員の心不全に関する実態調査

- 吉田 雅志^{1,2,3}、田邊 剛史²、萩野 勝也²、石橋 貴久彦²、西嶋 力³、大嶽 昇弘³、田中 新一郎³、横家 正樹^{2,3}、長野 俊彦^{2,3}、皆川 太郎³
医療法人社団友愛会 岩砂訪問看護ステーション¹
医療法人社団友愛会 岩砂病院・岩砂マタニティ 心臓リハビリテーションチーム²
NPO 法人岐阜心臓リハビリテーションネットワーク³